

実績概要 (ホームページ掲載用)

活動のテーマ	「高千穂通り花みちプロジェクト」を通した美しい宮崎づくり
助成事業者	(一財) 日本造園修景協会宮崎県支部
代表者	支部長 牧野 博司

(目的)

当団体は、令和2年から「居心地の良く歩きたくなる高千穂通りを未来につなごう！」を合言葉に、通り沿いの企業や県民の皆様、道路管理者の県と連携しながら、多年草や一年草を織り交ぜた多様性のある「宮崎ガーデン」づくりを目指した「高千穂通り花みちプロジェクト」に取り組んでおります。

活動にあたっては、季節毎の植栽イベントのほか、ボランティア団体（花みち crew）による月2回（第2・4日曜日）のメンテナンス活動を行っており、6年目を迎えて少しずつ成長した草花は通りの風景になじんできており、通りを歩く皆様から評価の声もいただいております。

現在、高千穂通りでは、県や宮崎市が中心となり道路空間の再編に向けた整備や県内初となる「ほこみち」制度の導入などが進められ、令和7年4月18日には複合商業施設「HAROW（ハロウ）」がグランドオープンし、これまでの駅から中心市街地に向かって『通るだけの道』から『居場所となるような道』に生まれ変わろうとしております。

本プロジェクトとしましても、この新しい動きと連携しながら、皆さんが通りの公共花壇を「まちの庭」として身近に感じていただけるようこれまでの取組みをさらに発展させ、花・みどりで様々な方々をつなぐ活動に取り組んでまいります。

(概要)

今年度は、高千穂通りほこみち推進会議や宮崎県、宮崎市と連携し、「タカチホドオリフラワーナイト（7月）」や「秋のまちかどコンサート（11月）」、「高千穂通まちなか茶会（1月）」のイベントにおいて、通りで育てている草花を活用した一輪挿し等を飾り、花みちプロジェクトらしい手法でイベントを盛り上げた。

また、上記に加えて、月2回のメンテナンス活動や、季節の移り変わりに合わせた植栽イベント等（7・8・9・11月）を通じて、宮崎生まれ多年草や一年草を織り交ぜた多様性のある「宮崎ガーデン」づくりに取り組んだ。

今年度は3年間の活動の最終年であるが、これまでの成果が認められ、11月に河野知事から『美しい宮崎づくりまちなみ景観賞』の表彰を受けることができた。

現在、花みちプロジェクトでいち早く取り組んだ「多年草や一年草を活用した花壇」が、今は、都城市、日南市、三股町など県内各地に広がりつつある。

今後も、高千穂通りの活動が他の地域の見本となるよう、これまでの経験を活かしながら様々な活動に挑戦したいと考えている。